

用 語 集

BT0 方式 (Build-Transfer-Operate ; 建設－譲渡－運営)

プロジェクト事業主体が自ら資金調達し、施設を建設した後、施設の所有権を当該公共体に引き渡すが、引き続き施設を運営するプロジェクト推進形態。

<D>

DB0 方式 (Design-Build-Operate ; 設計－建設－運営)

公共の資金調達により施設を建設し、民間事業者に設計・建設・運営を一体的に委ねる民間委託方式。施設の所有権は公共が保有するが、事業主体は民間事業者となる。

<L>

LCC (Life Cycle Cost ; ライフサイクル・コスト)

建物生涯費用。建物の企画・設計から施工、監理、維持管理、修繕、解体・撤去までの建物の生涯にかかる総費用。

PFI 事業におけるLCC とは、民間事業者が事業を行った際の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込額の現在価値のことで、PSC（後段参照）という従来型公共事業の場合に係る総費用との比較で使われる。

<P>

PFI (Private Finance Initiative)

従来公共部門が提供していた公共サービスを民間主導で実施することにより、設計 (Design)、建設 (Build)、維持管理・運営 (Operate) に民間の資金とノウハウを活用し、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方。

PPP (Public Private Partnership)

公共が提供してきた公共サービスに民間の資金や技術、ノウハウを取り入れることを指す。財政負担を減らしつつ良質な公共サービスを提供すること、民間部門に新たなビジネスチャンスを提供し経済の活性化を図ることなどが狙い。アウトソーシング（外部委託）、PFI などの方法がある。「官民のパートナーシップ」と訳されることもある。

PSC (Public Sector Comparator)

公共が、事業を従来どおりの公共事業として実施した場合の公的財政負担見込額の現在価値。PFI 事業方式によるLCC（前段参照）との比較として使われる。

建設コストの他に、想定される契約期間を通じて発生する維持管理、運営に要する経費及び解体撤去費、ならびに民間事業者に移転したリスクを定量化したもの等を含んだ総費用である。

<V>

VFM (Value for Money)

VFM（バリュー・フォー・マネー）とは、一般的には、「一定の支払い（公的財政負担）に対して最も価値の高いサービスを提供する」または「同等のサービスに対し最も低い支払

いの財政負担で済む」という考え方で、PFI における最も重要な概念の一つである。

VFM は、従来方式での公共事業の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込額の現在価値（PSC）と、PPP 事業として実施する場合の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込額の現在価値（PPP 事業のLCC）を比較することにより算出される。

VFM がある： $PSC > PPP \text{ 事業のLCC}$

VFM がない： $PSC < PPP \text{ 事業のLCC}$

PPP 事業の採用によるVFM の達成は、従来の公共事業方式と比べ、①サービス水準が一定であれば公共の負担するコストが従来より低減すること、あるいは②コストが従来と同等であればサービス水準が向上すること、により検証される。

従来の公共事業方式に代わりPPP 事業を採用するに当たっては、PPP 事業によってVFM が向上することの検証が求められる。PPP 事業を実施する民間事業者の選定においても、VFM は最も重要な選定要因となる。

〈か行〉

公設公営方式

公共が施設を建設し、公共の直営により運営する方式。

〈さ行〉

事業スキーム

事業やプロジェクトなど、様々な行動を起こす際に必要となってくる資金や組織間の調整などのマネジメントのことを示す。事業の枠組み。